

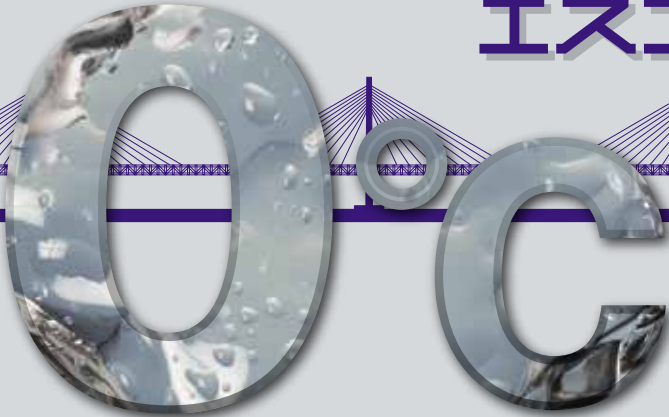
適用規格

便覧 2014
2005、JASS18 M-109、SPS

低温速乾形変性エポキシ樹脂系さび止め塗料

ESCO LTC

エスコ LTC



低温時の作業効率アップ でも塗装できます!!

独立行政法人 土木研究所寒地土木研究所の「寒冷地用塗装システムの施工性に関する検討」において低温時の作業性が良好である結果が得られました。

低温乾燥性

項目	温度	0℃	5℃	10℃	15℃
		乾燥時間	指 触	1時間	30分
	半硬化	2時間	1時間	45分	30分
標準塗装間隔	最短	5時間	3時間	2時間	1時間
	最長	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
ポットライフ		9時間	7時間	5時間	5時間

※ 15℃を超える環境ではポットライフが短くなりますのでご注意ください。

適用素材

鉄

適用旧塗膜

アルキド系、エポキシ系、ウレタン系などの旧塗膜に塗り重ねることができます。

- ※ 旧塗膜が脆弱な場合は、ちぢみ・割れが発生することがあります。
- ※ 被塗装面に結露がある場合は塗装できません。塗装しますと不具合の原因となりますのでご注意ください。

適用上塗塗料

下上兼用塗料：ユニテクト20セーフティ、ユニテクト30SF
ウレタン系：レタン6000HB、セラテクトU上塗

※ その他の適用上塗塗料についてはご相談ください。

防錆力 (サイクル腐食試験(JIS K 5600-7-9 サイクルD))

240サイクル試験後



色

赤さび色、グレー

荷 姿

18Kgセット(ベース:16.2Kg、硬化剤:1.8Kg)

ESCO LTC 低温環境 塗替塗装仕様例



- ※ 低温環境では上塗塗料は「エスコ LTC」に比べて乾燥が遅く、塗装後の結露・降雨等の影響により、白化などを起こす可能性があります。又、急激な温度変化が起こると鋼材が氷結して不具合の原因となりますので養生などの対策を取ってください。
- ※ 各種上塗塗料の乾燥性は製品説明書を参照ください。

● 重防食速乾仕様(ポリウレタン仕上げ)

工 程	塗料と処置	塗装方法	標準塗付量 (Kg/m ²)	塗装間隔(0℃)		膜 厚 (μm)	希釈率% (重量比)
				最 短	最 長		
素地調整	電動工具を用いて劣化した塗膜を除去し、発錆部はISO St3まで除錆する。 活膜部は全面表面あらしを行う。						
補修塗り (タッチアップ)	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ	(0.20)	5時間	1ヶ月	(60)	0~5
下 塗	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ・ローラー	0.20	5時間	1ヶ月	60	0~5
下 塗	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ・ローラー	0.20	5時間	1ヶ月	60	0~5
上 塗	レタン6000HB レタンシンナー	ハケ・ローラー	0.18	—	—	50	0~5

● 重防食速乾仕様(下上兼用シリコン変性エポキシ樹脂塗料仕上げ)

工 程	塗料と処置	塗装方法	標準塗付量 (Kg/m ²)	塗装間隔(5℃)		膜 厚 (μm)	希釈率% (重量比)
				最 短	最 長		
素地調整	電動工具を用いて劣化した塗膜を除去し、発錆部はISO St3まで除錆する。 活膜部は全面表面あらしを行う。						
補修塗り (タッチアップ)	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ	(0.20)	3時間	1ヶ月	(60)	0~5
下 塗	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ・ローラー	0.20	3時間	1ヶ月	60	0~5
下 塗	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ・ローラー	0.20	3時間	1ヶ月	60	0~5
上 塗	ユニテクト30 SF 塗料用シンナーA	ハケ・ローラー	0.17	—	—	60	0~5

● 鉄部工程短縮仕様(下上兼用アクリル変性エポキシ樹脂塗料仕上げ)

工 程	塗料と処置	塗装方法	標準塗付量 (Kg/m ²)	塗装間隔(5℃)		膜 厚 (μm)	希釈率% (重量比)
				最 短	最 長		
素地調整	電動工具を用いて劣化した塗膜を除去し、発錆部はISO St3まで除錆する。 活膜部は全面表面あらしを行う。						
補修塗り (タッチアップ)	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ	(0.20)	3時間	1ヶ月	(60)	0~5
下 塗	エスコLTC テクト上塗シンナー	ハケ・ローラー	0.20	3時間	1ヶ月	60	0~5
上 塗	ユニテクト20セーフティ 塗料用シンナーA	ハケ・ローラー	0.19	—	—	60	0~7

製品取扱上の注意事項(安全衛生他)

- 下記の注意事項を守って下さい。
- 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照下さい。

■ 予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中とともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防燥型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223

東京 TEL(03)5711-8902 FAX(03)5711-8932
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603

中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますので諒承ください。

(20年05月13日PPO)カタログNo.380